

## 第6回AACサウンドパフォーマンス道場プロジェクト

\*選考委員：桜井圭介（音楽家、ダンス批評、吾妻橋ダンスクロッシング・オーガナイザー）  
畠中実（NTT インターコミュニケーションセンター [ICC] 主任学芸員）  
山本裕之（作曲家、愛知県芸術大学音楽学部准教授）  
藤井明子（愛知芸術文化センター愛知県文化情報センター主任学芸員）

■作品公募期間：2012年6月1日(金)～7月10日(火) 応募数：17企画

### ■第1回プレゼンテーション

日時：2011年8月25日（土）17:00～21:00

会場：パルル

内容：4人の入選者による、入選作品についての説明および作品の一部の紹介上演。それに対して、選考委員や観客からの質問、コメント、アドバイスなど。



### ■第2回プレゼンテーション

日時：2012年9月12日（水）18:30～21:00

会場：愛知県芸術劇場小ホール

内容：本公演と同じ会場である小ホールでの、入選作品のテスト上演。それに対して、選考員からのアドバイス。

### ■本公演

日時：2012年10月6日（土） 上演 15:00～17:45

公開講評&審査会/表彰式 18:00～20:00

会場：愛知県芸術劇場小ホール

内容：・上演

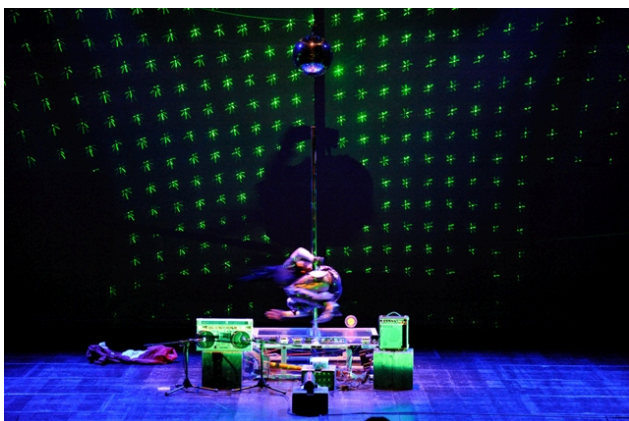
1. memu【ミーム】（代表 山田悠登）「memu op.02」
  2. メガネ「SOUND OF ENERGY」
  3. WARABI-696【ワラビ696】（代表 加藤良将）「WARABI-696」
  4. Hyslom【ヒスロム】「Big one -パイプ- / Documentation of Hysteresis」
  5. 第5回優秀賞受賞改訂再演 堀江俊行『ずれ木魚』
- ・公開講評、優秀賞の公開審査会、各賞の発表、表彰式
- 優秀賞： Hyslom 「Big one -パイプ- / Documentation of Hysteresis」
  - オーディエンス賞：メガネ 「SOUND OF ENERGY」

入場者数： 第1回プレゼンテーション	28人
第2回プレゼンテーション	19人
本公演 上演	80人
〃 公開講評&審査会/表彰式	57人
合計	184人

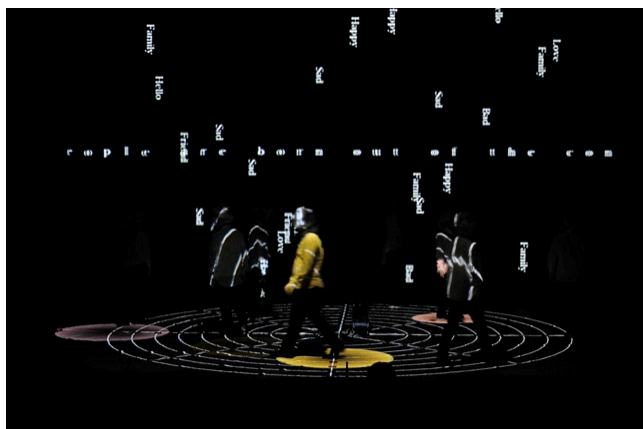
若いアーティストから“音を用いたパフォーマンス”の企画案を公募し、発展性のある企画をブラッシュアップさせて上演する機会を与える、若手アーティストの育成支援プロジェクトで、今回が6回目である。選考委員は、昨年度一新して、ダンス関係者（桜井圭介氏）、音に関わる美術館キュレーター（畠中実氏）、地元の大学教員で現代音楽の作曲家（山本裕之氏）にお願いし、今年は全員に継続した。公募では、テクノロジーを多用すること、ダンサーやパフォーマーが登場すること、音楽や音の演奏を行うことなどが、一つの企画の中に多様に組み合わせられた、これまで以上にバラエティに富んだ企画が多数を占め、まさに「サウンドパフォーマンス」としか表現できない作品案が集まった。入選作品は、2回のプレゼンテーションを経て着実にブラッシュアップされ、本公演での上演を行った。今回は、舞台空間全体を大きく用いた作品が多く、それぞれ見応えがあった。とはいえ、上演後の選考委員による公開講評においては、やはりまだまだ課題は多いというのが全体の意見であった。課題が多いということは、言い換えれば多くの可能性があるということで、今後の活躍を一層期待したい。



優秀賞受賞： Hyslom  
「Big one -パイプ- / Documentation of Hysteresis」



オーディエンス賞受賞：メガネ  
「SOUND OF ENERGY」



memu 「memu op.02」



WARABI-696 「WARABI-696」

公演写真撮影：加藤光